

明るく 仲よく たくましく ～「心のふるさと」となる あ・な・た を大切にする学校～  
日仏文化学院パリ日本人学校 平成27年度 学校だより 最終号

## *L'arc-en-ciel entre la France et le Japon*



平成28年3月18日(金) 発行 [文責：河部]

### 作文発表会 (小学部)

3月1日(火)、小学部の「作文発表会」を行いました。3年生以上の代表が発表するという部分は例年どおりでしたが、今年は1・2年生も、“聴衆”として全員が参加しました。活動後の感想として、“自分たちも、早く3年生になって発表してみたい”という内容があったようですので、意欲は高まったことと思います。その低学年も含めて、聞く態度も大変立派でした。発表内容は、さまざまなアンケート結果を用いてのフランス人気観光地ランキングや、本物を見せながら行ってくれたフランスのパンやチーズ事情などの内容を取り上げた3年生から、難しい言葉を用いたり、自分の感性を表情豊かに、かつ細やかに表現したりしながら発表してくれた6年生まで、バラエティーに富んだ作品が続きました。漢字学習とは異なり、作文学習に満点はないと思います。これからも、作文を書き上げたあと簡単に満足するのではなく、よりよい表現を求めて作品の質を高めていく姿勢や努力を続けていってほしいと思います。



### 卒業証書授与式

3月15日(火)、本年度の卒業式を行い、小学部22名、中学部7名の卒業生が本校から巣立っていきました。本年度は、この3年間で初めて、卒業生全員が参加することができました。このことは、私にとって何よりもうれしことでした。卒業生自身もそうでしょうし、在校生、保護者の皆様、教職員にとりまして、大変喜ばしいことだったと思います。式の後、来賓の皆様にていねいにお礼の言葉を述べていた卒業生の姿が印象的でした。式辞でも述べましたが、ここフランスで生活し、本校で学んだことを通して、一人一人の卒業生が、世界の各地で活躍してくれることを願ってやみません。なお、式当日はもちろんのこと、それまでのさまざまな準備の段階で、在校生の児童・生徒が本当に一生懸命に活動していた姿がとても印象的でした。日本や他の国へ転出する子どもたちはそれぞれの学校で、本校に残る子どもたちは“パリ日”のさらなる発展のために、一人一人の力を出し切って活躍してくれることを願ってやみません。併せて、今年の卒業式では、卒業生・在校生ともに、「門出の言葉」の掛け合いの際、本当に気持ちを込めることができていたと感じました。児童・生徒のこの一年間の成長を感じ取ることのできる一場面でした。

### 藤田六郎兵衛氏による「能管」公演

3月16日(水)、能楽笛方藤田流十一世宗家、藤田六郎兵衛(ふじたろくろびょうえ)氏による「能管」公演を、本校にて開催していただきました。パリ公演中のお忙しいなかにもかかわらずご快諾いただき、今回の公演実現の運びとなりました。当日は、卒業式の翌日でしたが、中学部の卒業生も参加してくれました。はじめに、自己紹介も含めた様々なためになるお話をしていただきましたが、「今日の公演で、これまでにない新しい違ったものを経験し、ものの見方が広がっていくことを願っています。」という言葉が特に印象に残りました。演奏も、これまでに経験の



ないような音色を味わうことができました。併せて、宗家でありながら、『難しいなあ』とか『意味が分かりにくいなあ』という素直な感想を持ってくれればそれでいいのです。」と話されていたことに敬服しました。お忙しいなかでの公演に、心より感謝申しあげます。

## お知らせ

先月末、「仏国三菱商事」様より、「電気で走る車のひみつ」という児童・生徒用図書を寄贈していただきました。環境学習の観点から大変ためになる内容のものです。ありがとうございました。

次年度の行事予定につきまして、一つ変更がございます。6月24日（金）に予定していました「高校説明会」につきまして、参加高校の事情により、6月17日（金）へ変更させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

前号で、2つの学校賞の受賞をお知らせしましたが、今回新たに、「こども環境大賞」（朝日小学生新聞主催）において、「団体優秀賞」を受賞しました。引き続きの受賞となりますが、児童・生徒が熱心に取り組んだ成果です。

## 季節はずれの雪を思い出に・・・3年間、本当にありがとうございました

3月に入ってから、2日（水）、5日（土）7日（月）と、3度も雪が降りました。フランスのこの冬は記録的な暖冬と言われていましたが、ここへきてその反動が来たような感じでした。3年前の「学校だより」を紐解いてみますと、平成25年4月4日の朝も、ここサンカンタンでは雪がちらついていたようです。私の個人的な印象としては、“思いもよらない時期に雪が降る国、フランス”という思いをもちながら帰国することになりそうです。この3年間、「パリ日本人学校」で勤務させていただいたことを大変うれしく思います。「オランダ・ロッテルダム日本人学校」における教諭としての3年間の勤務の後、14年ぶりの日本人学校での勤務でしたが、本当に有意義で中身の濃い期間だったように感じます。後半には大きなテロ事件もあり、皆さんにご心配をおかけしながらの時期が続きましたが、私自身は児童・生徒の明るさや元気、そして保護者の皆様をはじめとした関係の皆様のご支援に支えていただきながら、務めさせていただくことができました。4月以降、“パリ日”がますます活気に満ちたすばらしい学校へと成長していくこと、転出する子どもたちが新しい学校でも元気に活躍してくれることを願っています。3年間、本当にありがとうございました。